

ラオスニュース

(NO. 5)

発行：福岡・ラオス友好協会

平成 24 年 10 月 20 日

ドウアンデイ計画投資大臣が来福

セミナーと交流会を開催

ラオス政府のソムデイ・ドウアンデイ計画投資大臣ご夫妻が、ボングサイ計画投資省副局長や計画投資省の上級顧問の鈴木基義氏らとともに10月2日、3日来福されました。駐日ラオス大使館ケントン特命全権大使も東京から合流。



交流会でのひとこま

今回の福岡訪問は、国際機関日本アセアンセンターとラオス政府が主催し、当友好協会と在福岡ラオス名誉領事館後援の「ラオス経済・投資セミナー」の実施のため、2日の福岡市副市長、福岡県副知事表敬と3日の福岡商工会議所会頭への表敬訪問のあと、3日午後に、セミナーを開催しました。セミナーには、貿易関連企業・団体など100社が参加。ドウアンデイ大臣とケントン大使がラオスの将来性をアピールした後、タイ、ラオス、ベトナムとを結ぶ東西回廊の真ん中に位置するラオス・サワナ

ケート経済特区の近くで工業団地を運営しているオン・チン・チャイ営業部長から「サワナケート工業団地」の紹介と活用メリットについて説明があり、続いて、ラオスの発展に尽力してこられた鈴木顧問から熱のこもったインドシナの中でのラオスの活用方法等についての話がありました。尖閣の国有化から始まった中国でのデモ、日系企業工場、デパート等への破壊活動もあり、チャイナプラスワンの候補国の一つとして序目されていることもあり、参加者の関心もひととき高かったようです。

セミナー終了後は、ハイアット・リージェンシー・福岡でドウアンデイ大臣ご夫妻、ケントン大使ら16名を迎えて、日本アセアンセンター大西事務総長、津田友好協会会長ご夫妻、在福岡中島名誉領事、ラオスの留学生、それに友好協会会員など約800名で交流会を開きました。交流会では、津田会長の歓迎の挨拶に続き、ドウアンデイ大臣の答礼、大西事務総長の乾杯などの後、津田会長夫人から大臣夫人に博多人形が贈





られました。2時間近い交流会は、終始和やかに過ぎ、最後は中島名誉領事の閉会の挨拶でお開きとなりました。

ケントン駐日大使は、今年4月の当会の総会にご参加の予定でしたが、急用で果たせず、今回の福岡訪問をドウアンデイ大臣ご夫妻とともに、たいへん喜んでおられたご様子でした。

一行は福岡でのセミナーと交流会の後、大川市を訪問。ラオスにはラオス檜をはじめ木材が豊富であることから、大川市木工工業組合が主体となってラオスでの木工品製作を検討しており、去る9月には木工組合のメンバーがラオスを訪問しており、その具体化のために大臣自ら、訪問されることになったものです。



末吉会頭を、大臣が表敬訪問

民際センターによる「ダルニープレート登録」・「福岡からラオスの子どもたちを学校へ」へのご協力お願い

今年の総会でもご紹介しました二つの支援事業です。一つは女性だけで構成する「那の香ライオンズクラブ」が進めている、ラオスの学校に図書室を提供する（一学校 18 万円）運動です。当友好協会もお手伝いし、昨年11月に1校の図書室の開設が実現しました。これは総会などいろいろなお集まりの場で皆さんからの寄付や会費の剰余金などコツコツと集めたお金を NPO「ラオスの子ども」に送ったものです。次の図書室開設に向け、引き続き頑張っております。

もう一つは「ダルニープレートによる、



これがダルニープレートです

年間1万円でラオスの子ども一人を学校に行かせる運動」です。プレート（写真上）のお申し込みなど関係資料を同封しました。ご協力をお願いいたします。なお、プレートが事務局にも20枚あります。事務局でも差し上げております。お申し込みをお待ちしています。